

研究種目： 基盤研究 (C)
研究期間： 2007 ~ 2010
課題番号： 19520625
研究課題名 (和文) 合衆国南西部における先住社会の再編過程の歴史的検討
研究課題名 (英文) Citizenship and Native Americans
研究代表者 中野由美子
(Nakano, Yumiko)
名古屋大学・大学院国際言語文化研究科・准教授
研究者番号： 40362214

研究代表者の専門分野： 人文科学
科研費の分科・細目： 史学・西洋史
キーワード： 西洋史・社会史・アメリカ史・人種民族関係論

1. 研究計画の概要

合衆国においては、建国以来の領土の拡張に伴い、〈市民〉とは異なる〈インディアン〉という地位身分が特定の集団に対して付与されてきた。さらに 19 世紀末以降、合衆国が本土以外の地域において海外属領を獲得すると、〈国民〉という地位身分が当該地域の住民に付与された。本研究では、〈市民〉・〈インディアン〉・〈国民〉といった地位身分の創出過程を比較・対比しつつその歴史的意義を検討することを課題としている。

2. 研究の進捗状況

本研究の第一のねらいは、連邦法によって規定された〈インディアン〉という法的地位から〈市民〉という法的地位を逆照射しつつ歴史化することによって、〈市民〉概念を再検討することである。19・20 世紀転換期に海外領土の編入と国民統合の機運が高揚するなかで、国内においては建国以来の〈インディアン〉という地位身分を再定義する必要性が生じる一方で、主に海外属領では「市民籍のない国籍」(non-citizen

nationality) 保持者という地位身分が創出された。こうした状況を踏まえて本研究では、最初に、先住民の法的地位の変遷に関して、土地制度と学校教育と〈インディアン〉という法的地位の変遷を関連づけて論じた。その成果の一部が拙著『〈インディアン〉と〈市民〉のはざま—合衆国南西部における先住社会の再編過程』(詳細は下記 5 参照) である。

次に、併合地—グアダループ・イダルゴ条約によって合衆国領となった現在の合衆国南西部—や海外属領の先住者の法的地位の変遷と比較しつつ、〈市民〉・〈インディアン〉・〈国民〉という地位身分が再定義あるいは創出される過程を検証した。具体的には、保留地の住民、併合地の先住者であるスペイン・メキシコ系住民、そして合衆国の海外属領の住民について、それぞれの地位身分の創出・変容過程を土地・資源をめぐるポリティクスと関連づけながら検討した。加えて、〈市民〉・〈インディアン〉という法的概念を歴史化する試みを通じて、〈市民〉概念の序列性・排他性のみならず、恣意性・(擬似的)

拡張性について考察を加えた。その成果の一部は、「法的地位としての<市民>と先住民一世紀転換期の土地・資源をめぐるポリティクスー」（詳細は下記5参照）と題して、日本アメリカ史学会年次大会で口頭発表を行った。現在、このときの口頭発表の原稿を加筆修正中であり、完成稿を『アメリカ史研究』（2010年7月刊行予定）へ投稿する予定である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

現時点で、著書1件、雑誌論文1件、学会での口頭発表1件であり、限られた時間のなかでほぼ予定通り研究を進めることができた。とりわけ、これまでの研究を単著や学会での口頭発表の形で公表することができた点で、おおむね順調に研究を進めていくことができたと考えている。今後の課題としては、次の新しいテーマにつなげるべく、本研究のまとめとなる論文を執筆することである。

4. 今後の研究の推進方策

2009年9月に日本アメリカ史学会年次大会で行なった口頭発表（発表題目：法的地位としての<市民>と先住民）について、保留地の住民と海外属領の住民の法的地位の変遷に関する事例研究を深め、最終的には、<市民>・<インディアン>・<国民>という三つの地位身分が創出された過程の比較研究を進めていく予定である。その成果の一部は、日本アメリカ史学会の学会誌『アメリカ史研究』への投稿論文（「法的地位としての『市民』と先住民一世紀転換期の土地・資源をめぐるポリティクスー」）として現在執筆中であり、7月に刊行される予定である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

（中野）水野由美子、「先住民教育政策とキリスト教」『歴史評論』第707巻、49-62頁、2009年3月、査読なし（依頼論文）

〔学会発表〕（計1件）

中野由美子、「法的地位としての<市民>と先住民」、日本アメリカ史学会年次大会、2009年9月20日、於名古屋大学

〔図書〕（計1件）

（中野）水野由美子、名古屋大学出版会、『<インディアン>と<市民>のはざまで—合衆国南西部における先住社会の再編過程—』2007年、総ページ数：276頁。